

“高脂血症”から“脂質異常症”へ

「善玉」上げて「悪玉」下げて コレステロール値 診断に新基準

脂質異常症の診断・治療の流れ

日本動脈硬化学会のガイドライン(10年版)から作成

検査

血液検査(血清)1.5リットルあたり
 LDLコレステロール(悪玉) → 140mg以上
 HDLコレステロール(善玉) → 40mg未満
 中性脂肪 → 150mg以上

診断

いすれかに該当
 危険因子
 加齢(男性45歳以上、女性55歳以上)、
 高血圧、心筋梗塞などの家族歴、
 糖尿病、喫煙、
 HDLコレステロール40mg未満

脂質異常症

危険因子ゼロ (低リスク群) → LDL管理目標 180未満
 危険因子1〜2 (中リスク群) → LDL管理目標 140未満
 危険因子3以上 (高リスク群) → LDL管理目標 120未満
 心筋梗塞や
 脳心症の
 既往歴 → LDL管理目標 100未満

治療

主に生活習慣改善
 生活習慣改善 + 場合により薬物治療
 生活習慣改善 + 多くは薬物治療
 薬物治療 + 生活習慣改善

高脂血症の人 25%は「正常」

脂質異常症(高脂血症)は約10年前から高脂血症の定義から外れている。最近の血液検査では、LDLコレステロールの値が180mg以上(血清)より、LDLコレステロールが100mg以上(血中)とされる。LDLコレステロールが100mg以上(血中)とされる。LDLコレステロールが100mg以上(血中)とされる。LDLコレステロールが100mg以上(血中)とされる。

「善玉」も「悪玉」も含むLDLコレステロールと診断される。LDLコレステロールが100mg以上(血中)とされる。LDLコレステロールが100mg以上(血中)とされる。LDLコレステロールが100mg以上(血中)とされる。

「善玉」も「悪玉」も含むLDLコレステロールと診断される。LDLコレステロールが100mg以上(血中)とされる。LDLコレステロールが100mg以上(血中)とされる。LDLコレステロールが100mg以上(血中)とされる。

がん市民講座 30人を招待

がん医療は4月施行のがん対策基本法でどう変わるのか、外科手術、抗がん剤、放射線治療の最先端は――。日本癌学会の市民講座(朝日新聞社など後援)が7月1日(日)午後1時から、大阪国際会議場(大阪市北区中之島5の3の31)で開催される。垣田孝生・国立がんセンター名誉院長のほか、それぞれの治療法の専門家が講演する。抽選で30人を無料招待。往復はがきに住所、氏名、ふりがな、年齢、職業、電話番号、参加人数(1通2人まで、同伴者名も)、質問事項を記入し、〒113-0034 東京都文京区湯島3の31の5 アクセスマイレイン内「日本癌学会市民公開講座担当事務局」(eun-shimim@accessmail.co.jp)へ、14日必着。メールは午後5時までに。

LDL コレステロール(悪玉):140mg 以上
 HDL コレステロール(善玉):40mg 未満
 中性脂肪 :150mg 以上

危険因子
 加齢(男性 45 歳以上、女性 55 歳以上)
 高血圧、心筋梗塞などの家族歴、糖尿病、喫煙、HDL コレステロール 40mg 未満

HDL・LDL コレステロール、中性脂肪により判定危険因子の有無で治療方針を決定する
 当クリニックでは、動脈硬化の有無を客観的に判断(頸動脈エコー・フォルム・脳 MRI/MRA)して薬物治療の要否を決定している。

岡部クリニック
 院長 岡部 聡